

## STEP1 育苗準備

健苗育成のため、田植時期に合わせた育苗計画の策定

コシヒカリ育苗計画（例）

	浸種	催芽	播種	ハウス搬入	田植	育苗日数
一般苗	4月8日	4月17日	4月19日	4月22日	5月10日	21日
	4月17日	4月24日	4月26日	4月29日	5月15日	19日
	4月26日	5月1日	5月3日	5月6日	5月20日	17日
密苗	4月12日	4月20日	4月22日	4月25日	5月10日	18日
	4月21日	4月27日	4月29日	5月2日	5月15日	16日
	4月29日	5月4日	5月6日	5月9日	5月20日	14日

- 育苗箱・育苗資材は、500～1000倍に薄めた「イチバン」乳剤を使用して消毒を行い、育苗環境を整えましょう。

### 【育苗日数】

- 「5月15日田植え」を中心とした計画を立てましょう。
- 「一般苗は19日」「密苗は16日」を育苗日数の目安としましょう。
- ※上記日数は目安です。苗の生育が進んでいる場合は田植え開始日を早めましょう。

## STEP2 浸種

積算温度100℃～120℃を目標に！（12.5℃で9日間）

※イメージ図

- 水温10℃～15℃を保てるように設置場所を工夫しましょう。
- ※直射日光を避け、水温10℃以下、20℃以上にならないよう注意する
- 浸種開始時の水温を「12.5℃」とし、低水温に対する抵抗性を高めましょう。
- 薬剤の効果を高めるため浸種から3日間は水の入れ替えを行わないでください。
- その後は、2日に1回水を入れ替え、過度な水の交換を行わない。
- 水温を安定させることで催芽の揃いも良くなり、播種量の安定や苗の生育ムラも少なくなります。

【浸種水量】  
乾籾100kgに対して水360L以上が理想です



## STEP3 催芽

芽出しは30℃で1日を目安に！目指すは「ハト胸」

- 催芽温度は29℃～30℃を守り、芽の長さはハト胸～2mm程度に揃えましょう。
- 芽出し中は時々反転させて、温度ムラをなくしましょう。
- 余熱で芽が伸びすぎないように冷水にて、しっかり芽止めを行ってください。



## STEP4 播種

種・土・水の量の確認！おかしいと思ったらこまめにチェックを

播種量の目安

- 試し播きで播種量、床土量、かん水量を確認しましょう。
- 脱水を行い、種もみが手につかない程度に乾かしてから作業を行いましょう。
- 種籾がしっかり隠れる程度に覆土の量を調節しましょう。
- ※特に軽量培土を使用の場合は、覆土ムラで種子が露出しないよう注意

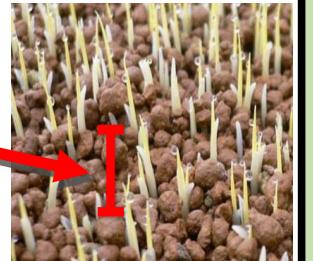
栽培方法	乾籾重量	1ネット(4kg) 当たり箱枚数
一般苗	120g	33箱
密苗	250g	16箱

## STEP5 出芽

出芽温度の厳守！温度計の複数設置で要監視

- 出芽温度は29℃～30℃を厳守しましょう。
- ※29℃を下回ると不揃いとなりやすく、30℃を超えると細菌病のリスクが増えます。
- 低温時の搬出は生育不良に繋がるので控えましょう。搬出は芽の長さ1cm程度を目安に行いましょう。

1cm



## STEP6 ハウス管理

ハウス内の高温に注意！病気が疑われる苗を発見したら速やかに隔離を

近年、育苗期間の気温が高い傾向にあります。外気温に関わらず日差しが差し込めばハウス内の温度は急激に上昇するため、こまめな温度管理を徹底し、健苗育成に努めましょう。

### 【搬入前後】重要ポイント



ハウス内温度30℃以下

- 排水不良は細菌病やカビが発生しやすくなるので、床面を均平にして排水を徹底しましょう。
- 搬入直後は覆土が落ち着くように充分にかん水し、水不足や覆土の浮き上がりにより苗がヤケないように注意しましょう。



細菌病により苗が枯死

### 【緑化期（搬入後2日～3日）】重要ポイント



ハウス内温度25℃以下

- 搬入後は急に強い光を当てると白化現象が発生し、枯死や生長障害の原因となるため、緑化終了（第1葉が開く頃）まで被覆資材を使いましょう。
- 緑化中は水分状態をこまめに確認し、覆土が乾けば適宜かん水をしましょう。
- ハウス内の温度が30℃を超えると細菌病や軟弱徒長苗が発生しやすくなるので、換気をして温度を下げましょう。



ムレ苗による被害

### 【硬化期（緑化期以降）】

ハウス内温度 昼25℃以下 夜10℃以上

- かん水は原則1日1回早朝に行いましょう。かん水量が多いと根の伸びが悪くなるのと同時にカビが発生しやすくなるので注意しましょう。
- 搬入後1週間からは、著しい低温や荒天時以外は夜間も換気して外気に慣らしましょう。

細菌病が疑われる苗を発見した際は速やかに隔離してJA指導員や振興センターへ！